☆安保法案のもたらす日本の未来

―戦後七十年の節目に日本の未来を考える―

◇下の三コマ漫画はある団体からご提供いただいたものです。安保法案のもたらす日本の未来を描いています。憲法のいままで、いま、そして未来を描いたものとも言えるでしょう。

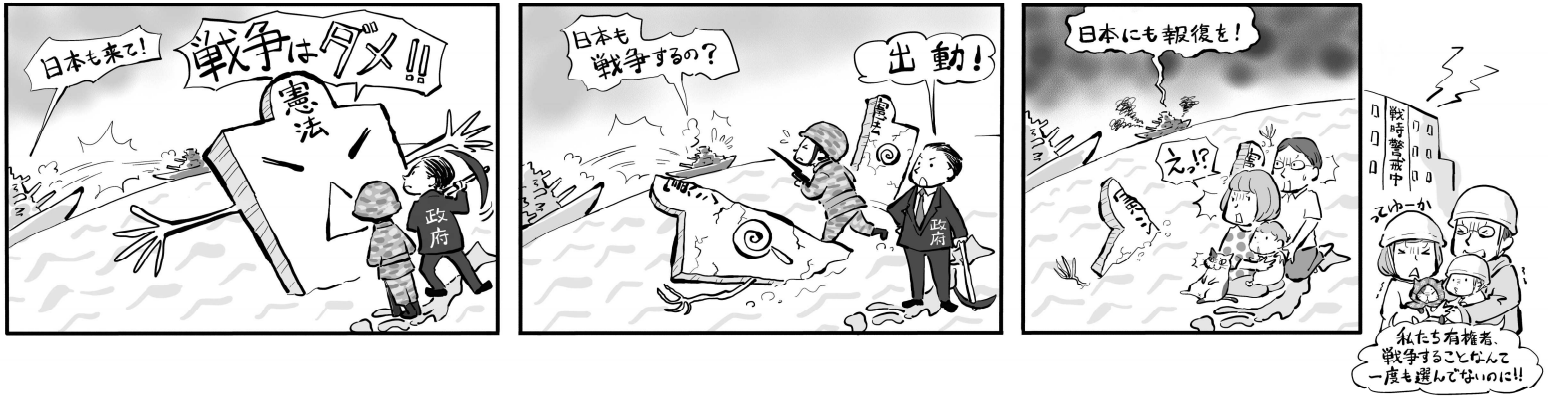
◇憲法は戦後七十年間、憲法を壊し戦争をしようという人達に立ちはだかって「戦争はダメ！」と言い続けて来ました。しかしいま国会ではまさにツルハシ（安保法案）でこの憲法を壊そうとしているのです。（左から一コマ目）

◇安保法案が成立したら、政府は「出動！」と言って自衛隊を海外に派遣し、日本のために戦っていると称する同盟国の戦争に参戦させます。壊れた憲法は涙を流しています。傷ついて手もヨレヨレです。（二コマ目）

◇海に沈んでゆく憲法。そして海外からは日本に報復するために外国の軍隊がやってきます。お父さんとお母さんは子供とネコを抱いて怯えています。（三コマ目）

◇そして、「限定的」と言っていた武力行使（＝戦争）から、ひょっとしたら日本の風景は戦争が日常となるかもしれない・・・国民（特に多くの女性と若者）はいまそう感じ始めています。

◇皆さん、「戦争はダメ！」という平和憲法をとりますか？　平和憲法を壊す安保法案で戦争をとりますか？　いま私たちに問われていることはそういうことなのです。



二〇一五年八月九日（日）護憲平和行進（通算５８２回目）

浜松市憲法を守る会　事務局　浜松市中区紺屋町三〇一―一五

★月例護憲平和行進　毎月第二日曜日・午後一時・浜松市役所正面玄関集合

浜松市憲法を守る会のホームページは http://gokenhamamatsu.g.dgdg.jp/→ 護憲浜松 で検索

日本国憲法　第九条

日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にれを放棄する。

前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。

国の交戦権は、これを認めない。